

## 令和8年度入学試験問題

### 受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子と解答用紙の解答番号を間違えないように注意してください。
3. 各科目のページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～17
世界史	18～40
地理	44～64
公民	66～80

4. 試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退室は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

## 世界史

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は  ～

(a)10世紀後半にユーグ=カペーがフランス王位についたとき、王権は微弱なもので、パリ周辺の領域を支配しているだけだった。この頃のフランスは、大諸侯や自立した城主がみずからの支配域を確立しており、その一つに(b)ノルマン人が支配するノルマンディー公国があり、フランス西部にはアンジュー伯が支配する伯領があった。12世紀半ばには、アンジュー伯であるアンリがヘンリ2世としてイングランド王に即位し、朝をひらいた。ヘンリ2世は、ノルマンディー公国を受け継ぎ、アキテーヌ公領も手中にしていたから、イングランド王国はフランス西半部をも支配する大国となった。

フランスの西半部がイングランド王に支配されている状況を打破し、王権を伸張させることに成功したのが、12世紀末にフランス王に即位したである。は、フランスにあるイングランド王の領地を奪取し、13世紀には王領を形成、各地域にバイイ、セネシャルという役人を任命して地方統治の制度を普及させた。その後、フランス王国は南フランスへと勢力を拡大させ、(c)フィリップ4世の治世時には、聖職者や貴族、都市の市民の支持を得て教皇に対抗し、強勢をほこるようになる。

カペー朝が断絶しヴァロワ朝がおこると、イングランド王エドワード3世がカペー家の血を引くことを理由にフランス王位の継承を主張した。これにより両国間で、以後、およそ百年間にわたる(d)百年戦争が始まった。当初は劣勢を強いられたフランス王国であったが、ジャンヌ=ダルクの活躍などによってイギリスの軍勢を撃退し、百年戦争終了とともに中央集権化への道を再び歩み始めた。

(e)15世紀末、フランス国王は領土拡大を企図し、ナボリの王位継承を理由にイタリアへと侵攻した。この動きに対抗したのが、神聖ローマ皇帝である。イタリア戦争と呼称されるこの戦いは、16世紀半ばまで断続しておこなわれた。16世紀には、ルターを代表とする(f)宗教改革運動が本格化し、この動きはフランス王国にも及んだ。ユグノーと呼ばれるカルヴァン派の勢力は拡大し、カトリック派の貴族たちとの武力衝突が始まった。こうしたなか、フランス王国ではアンリ3世が暗殺されヴァロワ家が断絶し、内乱と

なったが、やがて新国王にアンリ（アンリ 4 世）が即位して、<sup>(g)</sup>ブルボン朝が開かれた。アンリ 4 世は、ユグノーであったにもかかわらず、内乱をおさめるためカトリックに改宗し、1598年に□ウ□の王令を発して、新教徒には信仰の自由を保障する政策を打ち出した。しかし、混乱した王国の政治や経済の立てなおしに努力したアンリ 4 世もまた、暗殺された。

問 1 下線部(a)の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。□ 1 □

- ① フランク王国が東西フランク王国とイタリア王国に分裂した。
- ② 北アフリカでファーティマ朝がおこった。
- ③ 西南アジアでアッバース朝がおこった。
- ④ 東ヨーロッパでキエフ公国がおこった。
- ⑤ イベリア半島で後ウマイヤ朝がおこった。

問 2 下線部(b)に関連し、次に述べた文 a～c の正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑧から一つ選び、その番号をマークしなさい。

□ 2 □

- a クヌート（カヌート）が率いた一派は、アングロ=サクソン七王国（ヘプターキー）を征服した。
- b ロロが率いた一派は、アイスランドに渡り王国をたてた。
- c リューリクが率いた一派は、イングランドに攻め込みノルマン朝を開いた。

- |         |       |       |         |       |       |
|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| ① a : 正 | b : 正 | c : 正 | ② a : 正 | b : 正 | c : 誤 |
| ③ a : 正 | b : 誤 | c : 正 | ④ a : 正 | b : 誤 | c : 誤 |
| ⑤ a : 誤 | b : 正 | c : 正 | ⑥ a : 誤 | b : 正 | c : 誤 |
| ⑦ a : 誤 | b : 誤 | c : 正 | ⑧ a : 誤 | b : 誤 | c : 誤 |

問3 に入る語として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ウィンザー      ② ザクセン      ③ スチュアート      ④ テューダー  
⑤ ハノーヴァー      ⑥ プランタジネット

問4 に入る王名として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① シモン=ド=モンフォール      ② シャルル7世      ③ シャルル10世  
④ フィリップ2世      ⑤ ルイ9世      ⑥ ルイ=フィリップ

問5 下線部(c)について述べた次の文 a～c が年代の古い順に正しく並べてあるものを、下記の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- a 教皇庁をアヴィニョンに移転させた。  
b 教皇ボニファティウス8世を捕らえ、アナーニに幽閉した。  
c 聖職者・貴族・平民の代表からなる全国三部会（三部会）を招集した。

- ① a→b→c      ② a→c→b      ③ b→a→c  
④ b→c→a      ⑤ c→a→b      ⑥ c→b→a

問6 下線部(d)に関連して述べた次の文 a～c の正誤を判断し、問2の指示に従って、その番号をマークしなさい。

- a イギリス軍が、フランスの騎士軍をクレシーの戦いで破った。  
b イギリスはエドワード黒太子の活躍により、フランス南西部を奪うことに成功した。  
c 百年戦争の結果、イギリスが戦中に占領したカレーは、フランスに奪い返された。

問7 下線部(e)の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① イギリスでは、ランカスター家とヨーク家の間で王位継承の争いがあった。
- ② 十字軍がコンスタンティノープルを攻め、ラテン帝国をたてた。
- ③ イタリアでは、ボッカチオ（ボッカッチョ）が黒死病（ペスト）流行下の人間の姿を描いた作品を著した。
- ④ 神聖ローマ帝国では、叙任権闘争が始まった。
- ⑤ スペインのコルテスが、アステカ王国を滅ぼした。

問8 下線部(f)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① イギリスでは、ピューリタンがヘンリ8世に対抗して改革運動をおこした。
- ② ドイツでは、ミュンツァーの指導のもと、農民たちは領主制の廃止を要求した。
- ③ ルター派の諸侯や都市は同盟を結び、神聖ローマ皇帝や旧教徒派に対抗した。
- ④ ジュネーヴでは、フランス人のカルヴァンが改革運動をおこなった。
- ⑤ チューリヒでは、ツヴィングリが贖宥状の販売を批判した。

問9 下線部(g)に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ルイ16世は、マザランを登用し、三十年戦争へと介入させた。
- ② スペイン継承戦争の後、フランス国王の孫がスペイン王位を継いだ。
- ③ ミシシッピ川流域に進出し、そこにケベック植民地を建設した。
- ④ コルベールを登用し、重農主義政策がおこなわれた。
- ⑤ 七年戦争時に、フランス王国はイギリスと同盟を結んだ。

問10 に入る語として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ヴェルダン    ② ヴォルムス    ③ オルレアン    ④ ナント  
⑤ パリ            ⑥ ミラノ

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は  ～

(a) 15世紀末、ヨーロッパのなかで抜群の海運力をもったのはポルトガルとスペインだが、スペインの支援を受けた  の大西洋往還の成功は、一足早くアフリカに向かい大西洋で活躍していたポルトガルとの衝突・紛争の局面を予想させた。そこで両国は (b) ローマ教皇アレキサンデル6世の仲介によって、1493年、活動領域分離を協議し、その翌年ポルトガル側の要求を容れた修正を加えて、1494年  条約が成立した。 条約は現在のアフリカ西岸、ダカールの西、ヴェルデ岬諸島から370レグア（約2000キロメートル）、西経46度半あたりを境界線として地球を二分、その東側をポルトガル、西側をスペインの「発見」「植民」行動に委ねるとした。これで西半球での境界線は設定された。しかし、その裏側、東半球での境界線は概念上のものにすぎず、既成事実の積み上げが重要になっていった。

ポルトガルは1511年に  を入手しており、この戦略で一歩先んじていた。そのため一刻も早い「現場」到達がスペイン王たちの世界戦略の目標の一つであった。(c) カルロス1世（カール5世） は、そのために1519年から立て続けに  やアンドレス=ニーニョらを同海域や太平洋岸探索に向けて派遣し、1525年8月にはサンティアゴゴ騎士団長フライ=ガルシア=デ=ロアイサに八隻の船団を委ね、スペイン北西端の港ア=コルーニャから出航させた。主任パイロットはエル=カノ。  隊の生き残りで、フィリピン諸島のセブ島で死亡した  にかわり世界周航を1522年に完成させた人物である。彼は  がとった航路をたどり、南アメリカ大陸最南端の  海峡を通過、ロサイア艦隊を太平洋に導いた。その後フィリピンからモルッカ諸島を確認している。しかしポルトガル側に属するインドからアフリカ南端を回る既知の航路ではなく、太平洋上を反転してアメリカ大陸へ戻る水路は未踏であった。

新大陸からフィリピン諸島までは、赤道の南北15度付近に吹く、のちに貿易風と呼ばれる風に乗れば2カ月程度で航海できる。だが、復路として同航路を逆にたどって戻る航路は存在しなかった。

1556年に王位を継承した(d) フェリペ2世 もこの問題に関心を示し、メキシコのヌエバ

=エスパーニャ副王に遠征を命じた。そこで編成されたレガスピ艦隊は、1564年にメキシコ、現在のハリスコ州、ナビダーを出航した。その主任パイロットとなったのが、エル=カノの部下でアウグスチノ会士となっていたウルダネタである。船は航海命令書に従い  ゆかりのセブ島に根拠地を構えた。その2カ月後には、ウルダネタの指示で復路探索にとりかかり、フィリピン諸島からは台風を日本に運ぶ風に乗り、黒潮をとらえると日本列島仙台沖をかすめて北緯40度あたりまで北上、針路を東にとりカリフォルニアに向かった。そしてサンフランシスコ北方のメンドシノ岬をみて南下、アカプルコに帰還をはたした。

これは以降の<sup>(e)</sup>マニラとアカプルコ間の基本航路となり、帆船時代にも踏襲される。約4カ月の同航海の完遂者は幸いにも195名、死者21名、彼らの経験は次航海の安全・安着に不可欠で、彼らの手記は航海情報の集積である。

(平山篤子「スペインのマニラ建設」、岸本美緒編著「1571年 銀の大流通と国家統合」、山川出版社、所収より。省略や書き改めた箇所がある。)

問1 下線部(a)の時期に先立つ中世後半の地中海では、イタリア諸都市を中心に商業が活発になっていた。16世紀に入り、需要が高まり、高価な取引の対象となっていたアジアからの輸入品として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

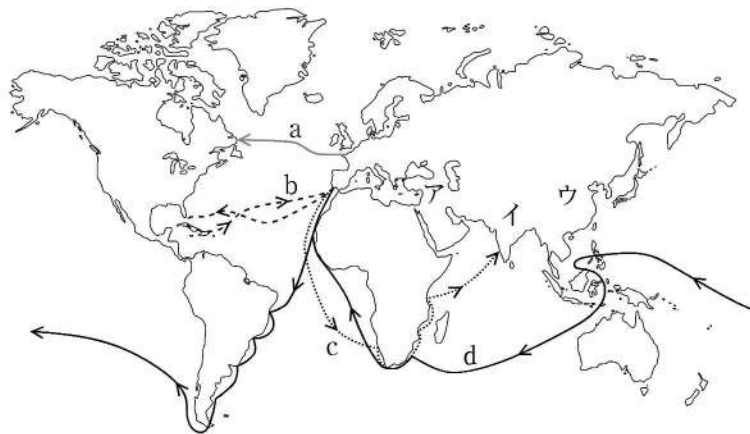
- ① 香辛料    ② 象牙    ③ トウモロコシ    ④ パピルス    ⑤ 綿花

問2  ・  に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～

⑫から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| ① A：アメリゴ=ヴェスプッチ   | B：ヴァスコ=ダ=ガマ     |
| ② A：アメリゴ=ヴェスプッチ   | B：コロンブス         |
| ③ A：アメリゴ=ヴェスプッチ   | B：マゼラン（マガリャンイス） |
| ④ A：ヴァスコ=ダ=ガマ     | B：アメリゴ=ヴェスプッチ   |
| ⑤ A：ヴァスコ=ダ=ガマ     | B：コロンブス         |
| ⑥ A：ヴァスコ=ダ=ガマ     | B：マゼラン（マガリャンイス） |
| ⑦ A：コロンブス         | B：アメリゴ=ヴェスプッチ   |
| ⑧ A：コロンブス         | B：ヴァスコ=ダ=ガマ     |
| ⑨ A：コロンブス         | B：マゼラン（マガリャンイス） |
| ⑩ A：マゼラン（マガリャンイス） | B：アメリゴ=ヴェスプッチ   |
| ⑪ A：マゼラン（マガリャンイス） | B：ヴァスコ=ダ=ガマ     |
| ⑫ A：マゼラン（マガリャンイス） | B：コロンブス         |

問3  ・  に入る人物およびその船団がそれぞれとった航路を、次の地図中の a～d から選び、その記号の組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑫から一つ選び、その番号をマークしなさい。



- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① A—a | B—b | ② A—a | B—c |
| ③ A—a | B—d | ④ A—b | B—a |
| ⑤ A—b | B—c | ⑥ A—b | B—d |
| ⑦ A—c | B—a | ⑧ A—c | B—b |
| ⑨ A—c | B—d | ⑩ A—d | B—a |
| ⑪ A—d | B—b | ⑫ A—d | B—c |

問4 下線部(b)に関連し、次に述べた文 a～c の正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑧から一つ選び、その番号をマークしなさい。

14

- a この協議の前年、スペイン（イスパニア）王国が成立した。
- b この協議の前年、スペインはグラナダを陥落させた。
- c この協議の前年、ブラジルはポルトガル領となった。

- ① a：正 b：正 c：正
- ② a：正 b：正 c：誤
- ③ a：正 b：誤 c：正
- ④ a：正 b：誤 c：誤
- ⑤ a：誤 b：正 c：正
- ⑥ a：誤 b：正 c：誤
- ⑦ a：誤 b：誤 c：正
- ⑧ a：誤 b：誤 c：誤

問5 に入る語として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 15

- ① サン=ステファノ
- ② トルデシリャス
- ③ マーストリヒト
- ④ ユトレヒト
- ⑤ ロカルノ

問6 に入る地名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 16

- ① カリカット
- ② ゴア
- ③ パナマ
- ④ マカオ
- ⑤ マラッカ

問7 下線部(c)について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 17

- ① イタリアに侵入したフランス王と戦った。
- ② 神聖ローマ皇帝に選出された。
- ③ ルターを破門した。
- ④ オスマン帝国と戦った。
- ⑤ 彼の政策により、都市ローマは疲弊し、イタリア・ルネサンスは衰退した。

問 8 下線部(d)について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① カトリックの盟主を自任し、プロテスタントを弾圧した。
- ② イタリア戦争を終結させた。
- ③ 彼の強圧的政策に抵抗したポルトガルが、独立を宣言した。
- ④ レパントの海戦で勝利した。
- ⑤ 無敵艦隊（アルマダ）をイギリスに派遣したが敗れた。

問 9 下線部(d)の王の治世に、問 3 の地図中のア～ウの位置に存在した帝国または王朝の名前の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑫から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ア：オスマン      イ：サーマーン      ウ：清
- ② ア：オスマン      イ：サーマーン      ウ：明
- ③ ア：オスマン      イ：ムガル      ウ：清
- ④ ア：オスマン      イ：ムガル      ウ：明
- ⑤ ア：サーマーン      イ：オスマン      ウ：清
- ⑥ ア：サーマーン      イ：オスマン      ウ：明
- ⑦ ア：サーマーン      イ：ムガル      ウ：清
- ⑧ ア：サーマーン      イ：ムガル      ウ：明
- ⑨ ア：ムガル      イ：オスマン      ウ：清
- ⑩ ア：ムガル      イ：オスマン      ウ：明
- ⑪ ア：ムガル      イ：サーマーン      ウ：清
- ⑫ ア：ムガル      イ：サーマーン      ウ：明

問10 下線部(e)に関連し、大型帆船が太平洋を往復した時代について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

20

- ① 中国の絹や陶磁器が、日本やアメリカ大陸、ヨーロッパに輸出された。
- ② 中南米や日本で採掘された銀が中国に流れ込んだ。
- ③ スペインと台湾の間の交易がさかんになった。
- ④ 中国は海禁を緩めた。
- ⑤ マニラとアカプルコ間の航路は1815年まで続いた。

〔Ⅲ〕次の文章は、布目潮瀨『貞観政要の政治学』（岩波同時代ライブラリー）の一節である（省略や書き改めた箇所がある）。この文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は  ～

『貞観政要』は、唐の第二代皇帝、<sup>(a)</sup>太宗（李世民）が臣下とかわした問答集である。唐の太宗は<sup>(b)</sup>「貞観の治」とよばれる中国歴代王朝の中の一つの極盛期を出現させ、明君の代表としての誉れが高い。そしてその明君としての記録が『貞観政要』だといってよい。したがって、唐の太宗以後の歴代王朝の皇帝は、最後の王朝である満洲族の清朝に至るまで、『貞観政要』を帝王学の教科書とした。それは、契丹の 、 の金、モンゴルの元の皇帝たちも例外ではない。また朝鮮半島各王朝の王、日本の天皇も一条天皇以来、大正天皇に至るまで、『貞観政要』の進講を受けた明証がある。

わが国では、天皇だけでなく、源頼朝の妻の北条政子は、『貞観政要』を仮名交じり文に訳させて愛読し、仏僧の道元・<sup>(c)</sup>日蓮も『貞観政要』を愛好した。徳川家康はみずから古活字本として刊行し、『貞観政要』を奨励した。江戸時代、各大名の藩校においても、多く教科書として採用された。

『貞観政要』が以上のように普及したのは何故であろうか。一言でいえば、<sup>(d)</sup>儒教的政治学が実践的に語られているからである。儒教といえば、唐の太宗のころでは、五経が中心である。五経は政治の理念は示しているが、その実践方法についてはあまり語らない。そこに出てくる<sup>ぎょう しゅん</sup>堯・舜や、<sup>(e)</sup>周の文王・武王・周公旦などは、時代もはるか遠く、伝説的要素もあり、現在どのように実践していけばよいのか容易に把握できない。『貞観政要』によれば、太宗が臣下との問答を通じて、その実践がどのように行われていったかがわかる。

太宗の政治を儒教的政治と言った。儒教は、<sup>(f)</sup>前漢の武帝の時に、諸子百家の説を抑えて、儒教だけが重んじられたとされてきた。最近の説では、儒教だけが優先的に重んじられた政治が実際に行われたのは、<sup>(g)</sup>後漢からとされているようだが。それ以後、中国最後の王朝である清朝に至るまで、王朝政治の基礎理論となった。<sup>(h)</sup>辛亥革命後、中華民国の時代になっても、儒教は古い道徳であるとして反孔教運動の波がおこっても絶

えず復活し、現在に至っている。

現在、我々が『貞観政要』を読む意義はどこにあるのだろうか。一つは『貞観政要』によって、中国史上最高の明君の一人である唐の太宗の政治実践の姿を知ることである。私も中国史学の一学徒として、まずこの態度で臨んでいる。しかし『貞観政要』を読めば、成果はそれだけに留まらない。その背景にある儒教には、たんに封建道徳として退けてしまえない人類不変の理が語られている。それはちょうど、古代ギリシアの<sup>(i)</sup>ソクラテスやプラトンを現代人が読むのと似ている。

問1 下線部(a)のように、中国の皇帝の呼称として廟号（李世民は「太宗」）が用いられることがある。また異なる王朝間においてもしばしば同じ廟号が使用される。

「太宗」と呼ばれる人物に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 

21
----

- ① 唐の太宗は、安祿山を起用した。
- ② 唐の太宗は、高句麗を滅ぼした。
- ③ 北宋の太宗の治世において靖康の変がおき、皇族の多くが北方に連れ去られた。
- ④ 明の太宗とは、朱元璋（洪武帝）のことである。
- ⑤ 清の太宗とは、ホンタイジのことである。

問2 下線部(b)のように、安定した治世や歴史的状況に関する表現について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

22

- ① 「開元の治」とは、則天武后（武則天）の治世を称えた言葉である。
- ② 「ローマの平和（パクス=ロマーナ）」とは、ディオクレティアヌス帝からコンスタンティヌス帝の治世を評価したものである。
- ③ 「パクス=ブリタニカ」とは、19世紀半ばを中心にイギリスの力によって保たれた国際秩序を評価した言葉である。
- ④ 「パクス=アメリカーナ」とは、先住民による組織的抵抗が鎮圧され、白人入植者が合衆国の全域に広がったことをさす言葉である。
- ⑤ 「デタント（緊張緩和）」とは、東西ドイツ統一によってもたらされた世界的状況を指す用語である。

問3 に入る王朝名とに入る民族集団名の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 23

- ① ア：西夏（大夏） イ：女真
- ② ア：西夏（大夏） イ：鮮卑
- ③ ア：吐蕃 イ：女真
- ④ ア：吐蕃 イ：鮮卑
- ⑤ ア：遼 イ：女真
- ⑥ ア：遼 イ：鮮卑

問4 下線部(c)は1222年から1282年の人とされる。その期間に活躍した同時代の人物名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

24

- ① イヴァン4世
- ② カール大帝（シャルルマーニュ）
- ③ クビライ（フビライ）
- ④ チャールズ1世
- ⑤ ティムール

問5 下線部(d)は儒学とも呼ぶ。儒教および儒学に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 25

- ① 始皇帝は、儒者を用いることで、時代にあった政治体制を構築した。
- ② 王莽は、儒教を排斥し、新たに仏教を政治に導入した。
- ③ 北宋の頃、『五経正義』が編纂された。
- ④ 南宋の頃、王守仁（王陽明）が朱子学とは異なる儒学を確立した。
- ⑤ 李成桂がたてた朝鮮王朝は、科挙において儒学を重視した。

問6 下線部(e)について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 26

- ① 殷を滅ぼして華北を支配した。
- ② 異民族の侵入によって都を東に遷したため、その後を東周と呼ぶ。
- ③ 東周時代の都は、洛邑であった。
- ④ 征服した地域を統治する仕組みとして、郡県制を用いた。
- ⑤ 春秋時代の覇者は、尊王攘夷をとらえた。

問7 下線部(f)のとった政策について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 27

- ① 河西4郡の一つである敦煌郡に軍隊を駐屯させた。
- ② 均輸・平準策を採用した。
- ③ 黄巾の乱を鎮圧した。
- ④ 朝鮮半島北部に楽浪郡を置いた。
- ⑤ 南越を討ち、南海9郡を置いた。

問8 下線部(g)に関連し、次に述べた文 a・b の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。 28

- a 劉秀（光武帝）は、赤眉の乱に乗じて挙兵し、王莽軍を破った。
- b 班超が、後漢の西域都護として活躍した。

a と b がともに正しい場合は……①をマーク

a と b がともに誤りの場合は……②をマーク

a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク

a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問9 下線部(h)に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 29

- ① 清朝による幹線鉄道の国有化令に反対した袁世凱は、興中会を基盤として清朝を倒した。
- ② 孫文を臨時大総統として、北京で中華民国の成立が宣言された。
- ③ 辛亥革命で退位させられた宣統帝は、後に満洲国皇帝となった。
- ④ 袁世凱は臨時大総統として憲法を制定することなく、帝政をおこなった。
- ⑤ 革命後、袁世凱は国民革命軍を私兵化した。

問10 下線部(i)は哲学者・思想家として著名である。世界史上の哲学者・思想家に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

30

- ① イブン=ハルドゥーンは、『集史』をとおして、大義名分論をとこなえた。
- ② 韓愈（韓退之）は、儒・仏・道三教の調和をとこなえ、考証学を大成した。
- ③ デカルトは、「人間は考える葦である」と人の本質を表現した。
- ④ ホッブズは、『統治二論』をとおして、社会契約説を展開した。
- ⑤ マキアヴェリは、『君主論』を著して、統治の基本原理を述べた。

〔Ⅳ〕次の新聞記事（『朝日新聞』2024年1月23日・朝刊。省略や書き改めた箇所がある）の一節を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は  ～

ヒンドゥー教徒と<sup>(a)</sup>イスラーム教徒が所有権を争ってきた<sup>(b)</sup>インド北部<sup>(c)</sup>アヨディヤの土地に、<sup>(d)</sup>ヒンドゥー教の<sup>(e)</sup>寺院が建設され、22日に落成式が開かれた。建設を選挙公約に掲げてきたモディ首相ら与党インド人民党（BJP）の幹部の多くも式に出席しており、政治的な動きや<sup>(f)</sup>宗教対立の拡大を懸念する声もある。

式典には与党支持者やヒンドゥー教徒、現地で人気の高い映画俳優らが出席。モディ氏は「この壮大な寺院は、発展したインドの証人となるだろう」と述べたうえで、「今はインドの時代だ。皆がこの時を待ち望んできた。我々はもう止まらない」と強調した。

地元メディアによると、寺院の面積は約1万926平方メートルで、寄付などでまかなう総工費は約180億ルピー（約320億円）。岩や大理石などで造られ、寺院全体は2025年までの完成を見込んでいるという。

一方、インドでは4～5月に総選挙が予定されており、主要野党の国民会議派のラフル=ガンディー元総裁は「（与党の支持母体の）民族奉仕団とBJPは、式典を政治的なものにし、モディ氏の行事にしてしまった」と批判した。

この土地にはかつて、ムガル帝国時代の<sup>(g)</sup>16世紀に建てられたイスラーム教の<sup>(h)</sup>礼拝所（モスク）があった。だが、ヒンドゥー教徒たちはインド古代の叙事詩『<sup>(i)</sup>ラーマヤナ』の主人公ラーマ神（最高神ヴィシュヌの化身）が生まれた<sup>(j)</sup>聖地だと主張。双方が所有権を求める訴訟を起こしていた。

1992年には、一部のヒンドゥー至上主義者がこのモスクを破壊し、国内各地で暴動が発生。約2千人の死者が出た。インド最高裁は2019年11月、ヒンドゥー教徒側に「聖地」とされる土地の所有権を認める判決を下し、ヒンドゥー教寺院の建設が進んでいた。（朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。承諾番号：26-0519）

問1 下線部(a)に関連し、現在のインドの地に成立したイスラーム王朝について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

31

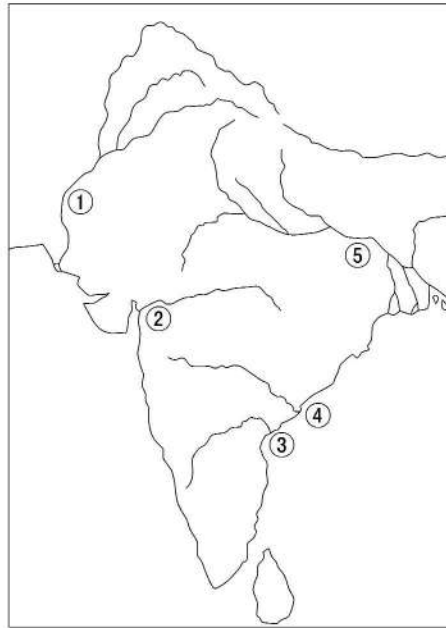
- ① アクバルは、マンサブダール制を定めて貴族と官僚を組織した。
- ② インドで建国された最初のイスラーム王朝はガズナ朝である。
- ③ カピチュレーションと呼ばれる領主層が成立した。
- ④ シャー=ジャハーンはジズヤ（人頭税）を復活させた。
- ⑤ ティムールはムガル帝国の基礎を築いた。

問2 下線部(b)について、次の略年表はイギリスのインド支配を示している。略年表の  ・  に入る都市名の組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 32

西 暦	出 来 事
1600年	東インド会社を設立
1639年	マドラスに拠点を設置
1661年	<input type="text" value="A"/> に拠点を設置
1690年	<input type="text" value="B"/> に拠点を設置
1757年	ブラッシーの戦いの勃発
1857年	インド大反乱（シパーヒーによる大反乱）の勃発
1877年	ヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国の成立

- ① A：カルカッタ            B：ボンディシェリ
- ② A：カルカッタ            B：ボンベイ
- ③ A：ボンディシェリ        B：カルカッタ
- ④ A：ボンディシェリ        B：ボンベイ
- ⑤ A：ボンベイ                B：カルカッタ
- ⑥ A：ボンベイ                B：ボンディシェリ

問3 下線部(c)は、ガンジス川の支流沿いにある町の名前である。ガンジス川の位置として最も適切なものを、次の地図中の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。



問4 下線部(d)について述べた次の文 a・b の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。

- a ヒンドゥー教の開祖はヴァルダマーナ（マハーヴィーラ）である。
- b ジャワ島で成立したマジャパヒト王国では、ヒンドゥー教が信仰された。

- a と b がともに正しい場合は……①をマーク
- a と b がともに誤りの場合は……②をマーク
- a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク
- a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問5 下線部(e)に関連し、南アジアから東南アジアにかけての地域にのこる寺院について述べた次の文 a・b の正誤を判断し、問4の指示に従って、その番号をマークしなさい。 35

- a アジャンター石窟寺院の主要部はクシャーナ朝のものでつくられた。
- b パガンの仏教寺院群はチャオプラヤ川流域に建立された。

問6 下線部(f)に関連し、宗教結社や宗派が関係する次の争い a～c が年代の古い順に正しく並べてあるものを、下記の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 36

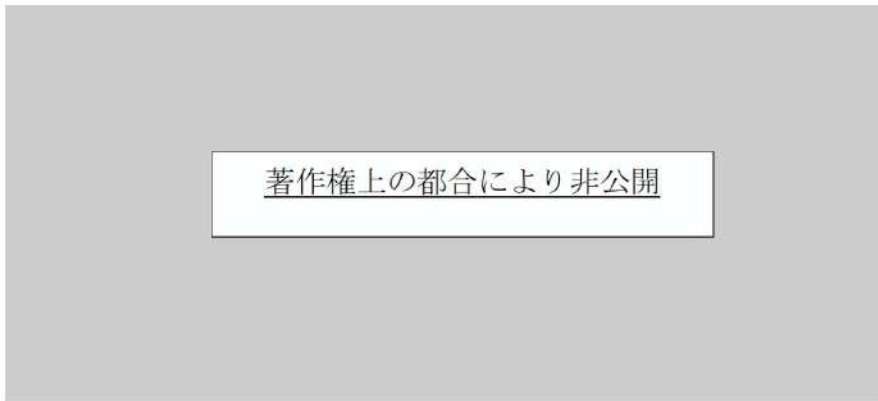
- a 太平天国の乱    b 紅巾の乱    c フス戦争

- ① a→b→c    ② a→c→b    ③ b→a→c
- ④ b→c→a    ⑤ c→a→b    ⑥ c→b→a

問7 下線部(g)の世界でおきた出来事に含まれないものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 37

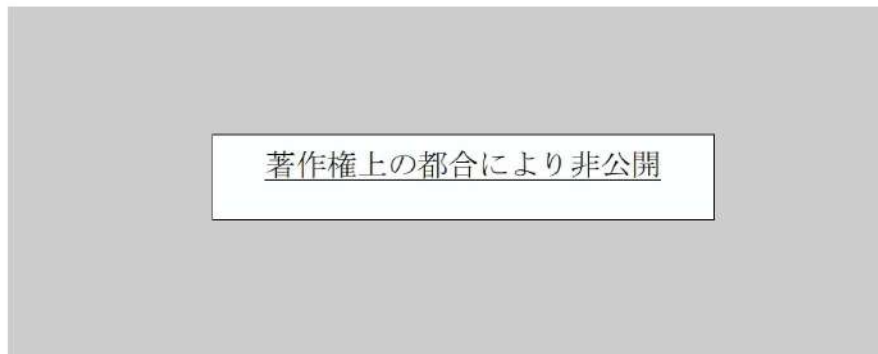
- ① サンバルテルミの虐殺事件がおこった。
- ② 東ローマ帝国（ビザンツ帝国）が滅亡した。
- ③ アルタン=ハーンが北京を包囲した。
- ④ スレイマン1世がウィーンを包囲した。
- ⑤ サファヴィー朝が成立した。

問 8 下線部(h)に関連し、次の(ア)～(ウ)の建築物の写真と名称を参照し、それぞれを建造させた人物名との組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 38



(ア) イマームのモスク

(イ) クトゥブ=ミナール



(ウ) スレイマン=モスク

- |   |             |             |             |
|---|-------------|-------------|-------------|
| ① | (ア)ーアイバク    | (イ)ーアッパース1世 | (ウ)ースレイマン1世 |
| ② | (ア)ーアイバク    | (イ)ースレイマン1世 | (ウ)ーアッパース1世 |
| ③ | (ア)ーアッパース1世 | (イ)ーアイバク    | (ウ)ースレイマン1世 |
| ④ | (ア)ーアッパース1世 | (イ)ースレイマン1世 | (ウ)ーアイバク    |
| ⑤ | (ア)ースレイマン1世 | (イ)ーアイバク    | (ウ)ーアッパース1世 |
| ⑥ | (ア)ースレイマン1世 | (イ)ーアッパース1世 | (ウ)ーアイバク    |

問9 下線部(i)は「インド古典文化の黄金期」と呼ばれるグプタ朝のもとで成立した。グプタ朝について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 39

- ① この王朝は、チャンドラグプタ1世によってたてられた。
- ② この王朝下で完成した『シャクンタラー』には、刑罰に関する規定がまとめられた。
- ③ 政治や学芸の言語として、サンスクリット語が重視された。
- ④ 『ラーマーヤナ』は、東南アジアにも伝わった。
- ⑤ この王朝下のインドを訪れた法顕は、『仏国記』を著した。

問10 下線部(j)に関連し、次に述べた文a～cの正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑧から一つ選び、その番号をマークしなさい。

40

- a イエルサレムはイスラーム教の聖地でもある。
- b フェニキア人は都市国家ウルにジググラト（聖塔）を建て、都市の神をまつた。
- c カーバ聖殿はメディナにある。

- |       |     |     |       |     |     |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| ① a：正 | b：正 | c：正 | ② a：正 | b：正 | c：誤 |
| ③ a：正 | b：誤 | c：正 | ④ a：正 | b：誤 | c：誤 |
| ⑤ a：誤 | b：正 | c：正 | ⑥ a：誤 | b：正 | c：誤 |
| ⑦ a：誤 | b：誤 | c：正 | ⑧ a：誤 | b：誤 | c：誤 |